

青森県十和田市

課題

- ・意欲ある若者を地域おこし協力隊員として地域社会の新たな担い手とする試み。
- ・十和田奥入瀬地域における自然環境保全と観光の持続可能な共生のあり方の調査。

実現を目指していく地域のイメージ

地域に未だ眠る資源を積極的に見出し、活用を図ることにより、地域の活性化と新たな雇用の創出を目指し、この地で暮らす人々がこの地域に生き、暮らすことにこれまで以上に誇りに思える地域づくりを目指す。



調査事業の概要



地域の人材力の強化の取組

「十和田奥入瀬
認定ガイド養成講座」

自然環境保全と
地域振興の共生

「奥入瀬溪流
エコツーリズムフォーラム」



低炭素社会づくり、環境
保全・再生プランの検討

「奥入瀬溪流
エコロードフェスタ」



対応策の提示

＜これまでのノウハウ、対応策＞

- ・新たな人材育成を図るために、十和田奥入瀬認定ガイド制度を制定し、養成講座を開催。
- ・紅葉の観光シーズン期間の二日間に限定してマイカー交通規制を試行。全国の国立公園に先駆けた新たな環境施策を展開し、自然価値の向上を図るため交通規制期間に併催行事として各種ウォーキングの実施や、環境に特化したイベントを同時に展開。

＜調査事業によりとりまとめたノウハウ、対応策＞

- ・本事業をとおして、今年度認定したガイド20名、来年度昇格する予定の11名、合わせて計31名の認定ガイドを確保できる見通しであり、十和田湖・奥入瀬溪流本来の自然・景観に根ざした奥入瀬ファンの拡大に向け、その中心となる人材を育成・確保することが出来た。
- ・フォーラムの開催では、エコツーリズムの機運の醸成。啓発フォーラムに終始せず、参加者が新たな知識を得て、十和田湖奥入瀬地域を見つめなおすきっかけを与えた。
- ・エコロードフェスタにおいては、単なる環境展にせず、参加者に体験していただくことにより、低炭素社会づくり、自然環境保全の理解啓発効果を高めた。

＜今回の調査により得られた新たな課題＞

- ・ガイド団体の連携による、ワンストップ体制の確立。
- ・周辺市町村との広域的な連携の必要性。